

総論 歌 唱

平 次

法人

協

議

會

宣 言

日本労働組合總聯合 昭和六年度大會は現下の客觀的情勢の正し
き認識の上に立って、自からの重大なる使命の遂行に對する闘
争的決意を茲に宣言する。

世界恐慌の嵐はいよいよ吹き荒れて、今や遂に、世界資本主義の
中軸大英帝國の經濟をもこの根柢から揺かせ非常時の手段を
以て自からの崩壊を辛うじて喰止めんとするの狀態に立ち到り
しめた。獨逸の財政は既に全く破綻し資本主義世界の唯一の支柱
たるアメリカ經濟も亦急速に瓦解の過程を辿りつゝある。

日本の金融資本國政策はインフキ財政々策の秘術を盡して表面
を糊塗し國家經濟破綻の皮面を國民の眼から覆はんと必死の
努力を盡して居る。夫れにも拘らず不景氣の聲知れぬ深刻化
と失業の限りなき激化と政府の「赤字」と緊縮を通し、大衆は
國家の經濟破綻を直感する。その結果は民心の一般的不安、不協と
意識的分子の反資本主義的意圖の具体化である。最近労働争議
及小作争議は數に於て激増したばかりでなく、質に於て特